

## 2019 年度川俣町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

川俣町の地勢を大別すると、平坦地・中山間地・高冷地の 3 地帯に分類される。平坦地は、広瀬川流域で比較的平坦で水利の便も良く、その多くは基盤整備済みの水田であり、機械化農業が積極的に導入され、水稻を中心に野菜等を基幹とした複合経営地帯である。中山間地は、阿武隈山系の傾斜地がほとんどであり、水田は未整備田が多く水稻・野菜・たらの芽・原木しいたけ・畜産・養蚕等の複合経営地帯である。

高冷地である山木屋地区は、現在水田の基盤整備を実施しており、水稻や飼料作物、花卉等を基幹とした複合経営地帯である。

農業の生産構造は、中山間地を中心に農業担い手の減少や高齢化・農業後継者の不足・鳥獣被害による営農意欲の低下・耕作放棄地の増加などの問題が顕在化している。また山木屋地区については、避難指示が解除されたものの、帰還して農業をする者もまだ少なく、作付再開面積は非常に少ない状況である。

### 2 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

- ・標高等の栽培条件に適した品種の作付けや実需者ニーズ及び需要に応じた米作りの推進。

平坦地はコシヒカリの品質・収量の安定化を図り、「中通り産コシヒカリ」産地としてブランド力を高める。中山間地はひとめぼれ及び福島県オリジナル品種の里山のつぶを推進し、1 等米比率の向上を図る。

また、山木屋地区は地区内外の意欲ある農業者に対して積極的に農地を集積することで、作付再開を支援する。

#### (2) 非主食用米

- ・水田の機能保全と生産調整機能の両面を併せ持つ有力な手段として加工用米・飼料用米・備蓄米の推進を図り、助成を行う。

##### ア 飼料用米

- ・機械等の新たな投資が不要で、湿田でも栽培が容易であることから、転作作物のひとつとして作付を推進するとともに、多収品種の導入や、産地交付金を活用した肥料・農薬の低減化等、生産性向上の取組を推進し、JA 等を通じた安定取引を目指す。

##### イ 米粉用米

該当なし

##### ウ 新市場開拓用米

該当なし

##### エ WCS 用稲

該当なし

#### オ 加工用米

- ・機械等の新たな投資が不要で、湿田でも栽培が容易であることから、転作作物のひとつとして作付を推進するとともに、産地交付金を活用した直播栽培や側条施肥等により生産性向上の取組みを推進し、JA等を通じた複数年契約による安定取引を目指す。

#### カ 備蓄米

- ・県別優先枠の範囲でJA等が策定する生産計画に基づき、配分枠の全量生産に努める。

#### (3) 麦、大豆、飼料作物

- ・品質・収量が不安定で大部分が自家消費向けである。基本技術の定着を進め安定生産に努めるとともに、加工して付加価値を高め、JA農産物直売所等に出荷して地産地消を推進する。

#### (4) そば、なたね

- ・なたねは一部作付けはあるが品質・収量が不安定で大部分が自家消費向けである。基本技術の定着を進め安定生産を推進する。
- ・そばについては地元産そば粉を使ったそば打ち体験活動の推進を行う。

#### (5) 高収益作物（園芸作物等）

##### ア ミニトマト、きゅうり、たらこの芽

- ・複合経営の中で収益性の高い基幹作物として重要な位置づけとなっており、産地交付金を活用して、主要野菜として作付拡大を推進し、JA等と連携した販売体制の強化を図る。

##### イ その他野菜

- ・少量多品目の作物が求められる直売所等への出荷量を確保するため、産地交付金を活用して、作付拡大を図る。

##### ウ きく（小菊）

- ・複合経営の中で収益性の高い基幹作物として重要な位置づけとなっており、産地交付金を活用して、主要作物として作付拡大を推進し、JA等と連携した販売体制の強化を図る。

##### エ その他（花き・花木）

- ・少量多品目の作物が求められる直売所等への出荷量を確保するため、産地交付金を活用して、作付拡大を図る。

#### (6) 畑地化の推進

野菜や花卉等高収益作物の生産に専念することにより、作付拡大や収量の安定化・高品質化による安定した経営を目指すため、畑地化及び団地化の取組を推進する。

### 3 作物ごとの作付予定面積

| 作物               | 前年度の作付面積<br>(ha) | 当年度の作付予定面積<br>(ha) | 2020 年度の作付目標面積<br>(ha) |
|------------------|------------------|--------------------|------------------------|
| 主食用米             | 174              | 175                | 185                    |
| 飼料用米             | 0.9              | 1.3                | 3                      |
| 米粉用米             | 0                | 0                  | 0                      |
| 新市場開拓用米          | 0                | 0                  | 0                      |
| WCS 用稲           | 0                | 0                  | 0                      |
| 加工用米             | 0                | 0                  | 0                      |
| 備蓄米              | 2.0              | 1.8                | 2                      |
| 麦                | 0                | 0                  | 0                      |
| 大豆               | 1.6              | 1.7                | 1.8                    |
| 飼料作物             | 8.7              | 9.4                | 10                     |
| そば               | 3.7              | 3.7                | 4                      |
| なたね              | 0.6              | 0.8                | 0.9                    |
| その他地域振興作物        | 5.5              | 7.5                | 10.3                   |
| 野菜               |                  |                    |                        |
| ・ トマト(ミニ<br>トマト) | 1.3              | 1.5                | 2                      |
| ・ きく(小菊)         | 0.9              | 1.3                | 2                      |
| ・ たらの芽           | 0.7              | 0.8                | 1                      |
| ・ きゅうり           | 0.8              | 1.0                | 1.5                    |
| ・ その他野菜          | 1.5              | 2.3                | 3                      |
| ・ 花卉・花木          | 0.3              | 0.5                | 0.8                    |

### 4 課題解決に向けた取組及び目標

| 整理<br>番号 | 対象作物                                                  | 使途名      | 目標               | 前年度(実績)                           |                                   |
|----------|-------------------------------------------------------|----------|------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
|          |                                                       |          |                  | 前年度(実績)                           | 目標値                               |
| 1        | トマト(ミニト<br>マト含む)、きく(小<br>菊含む)、きゅう<br>り、たらの芽(基<br>幹作物) | 地域振興作物助成 | 地域振興作物<br>作付面積   | (2018 年度) 1.2ha                   | (2020 年度) 1.7ha                   |
| 2        | 飼料用米(基幹作<br>物)                                        | 飼料用米助成   | 飼料用米作付面積         | (2018 年度) 0.9ha                   | (2020 年度) 3ha                     |
| 3        | 野菜(基幹作物)                                              | 一般作物助成   | 一般作物作付面積         | (2018 年度) 0.5ha                   | (2020 年度) 0.7ha                   |
| 4        | 花卉(基幹作物)                                              | 一般作物助成   | 一般作物作付面積         | (2018 年度) 0.2ha                   | (2020 年度) 0.4ha                   |
| 5        | なたね(基幹作物)                                             | なたね助成    | なたね作付面積<br>なたね単収 | (2018 年度) 0.6ha<br>(2018 年度) 26kg | (2020 年度) 0.9ha<br>(2020 年度) 90kg |

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下

さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり